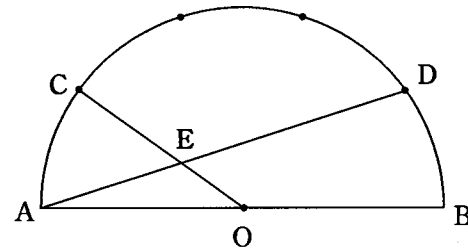


- [注意] 1 答えに $\sqrt{\quad}$ が含まれるときは、 $\sqrt{\quad}$ をつけたままで答えなさい。
 また、 $\sqrt{\quad}$ の中の数は、できるだけ小さい自然数にしない。
 2 円周率は π を用いなさい。
 3 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

1 次の①～⑥の \square に適切な数を書き入れなさい。

- ① $-\left\{-\frac{1}{4} + \frac{1}{2} \times \left(-\frac{5}{3}\right)\right\} \div \left(-\frac{5}{3} \times \frac{1}{3} - \frac{1}{6}\right)$ を計算すると \square である。
- ② $x=2$ が2次方程式 $x^2 - \frac{a(x-1)}{2} + a = \frac{1}{2}$ の解であるとき、 a の値は \square である。
- ③ 関数 $y=ax+b$ ($a < 0$)について、 x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ のとき、 y の変域は $-2 \leq y \leq 7$ である。このとき、 $a = \square$ (7), $b = \square$ (4)である。
- ④ 相似な円錐の形をした2種類のおもりA, Bがある。A, Bは同じ材質で中が詰まっており、Bの高さはAの高さの $\frac{2}{3}$ 倍である。このとき、Aの16個分の重さと、Bの \square 個分の重さは等しい。

- ⑤ 右の図のように、線分ABを直径とする半円Oの弧ABを5等分し、2点C, Dをとる。線分OC, ADの交点をEとすると、 $\angle BAD = \square$ (7) $^\circ$ であり、 $\angle OED = \square$ (4) $^\circ$ である。



- ⑥ 大小2つのさいころを同時に投げるとき、出た目の数をそれぞれ a, b とする。この a, b に対して、3点A(0,4), B(1, a), C(2, b)をとる。このとき、3点A, B, Cが一直線上に並ぶ確率は \square である。

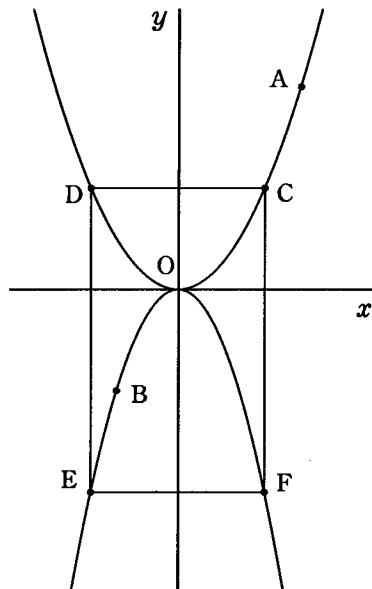
- 2 下の表は、生徒20人に100点満点の数学のテストを行い、その結果をまとめたものである。ただし、得点はすべて10点きざみで、中央値は65点であった。次の①, ②では \square に適切な数を書き入れなさい。また、③では答えだけでなく、答えを求める過程がわかるように、途中の式や計算なども書きなさい。

得点(点)	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	計
度数(人)	0	0	0	0	3	5	a	6	b	c	0	20

- ① $a = \square$ である。
- ② 80点以上の生徒の人数の全体に対する割合は \square %である。
- ③ 得点の平均値は最頻値より8点低かった。このとき、 b, c の値を求めなさい。ただし、得点の平均値には1点未満の端数は生じなかった。

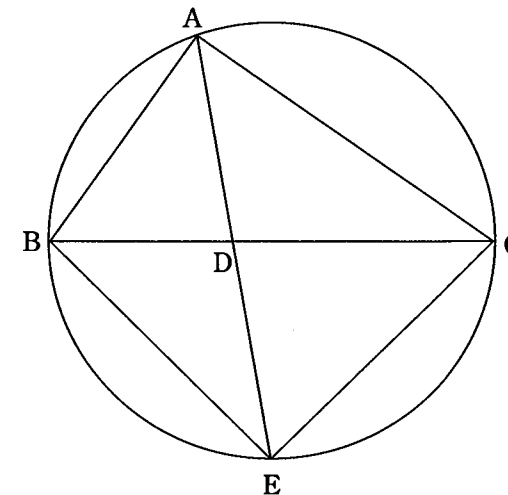
- 3 3年生のあるクラスは、文化祭で、ジュースをコップに入れて販売することにした。はじめは1杯に250 mLのジュースを入れて販売していたが、用意したジュースが余りそうになったので途中から10%増量して販売すると、用意した31 Lのジュースとコップをちょうど使い切って完売した。ジュースは1 Lあたり300円、コップは1個20円で総額11700円の材料費がかかった。増量する前と増量した後に販売したジュースはそれぞれ何杯であったかを求めなさい。ただし、答えだけでなく、答えを求める過程がわかるように、途中の式や計算なども書きなさい。

4 右の図のように、点 $A(4, 8)$ を通る関数 $y = ax^2 (a > 0)$ のグラフと、点 $B(-2, b)$ を通る関数 $y = -x^2$ のグラフがある。 $y = ax^2$ のグラフ上に 2 点 C, D を、直線 CD が x 軸と平行になるようにとり、 $y = -x^2$ のグラフ上に 2 点 E, F を、四角形 $CDEF$ が長方形となるようにとる。ただし、2 点 C, F の x 座標は正とする。次の ①, ③ では に適当な数を書き入れなさい。また、② では答えだけでなく、答えを求める過程がわかるように、途中の式や計算なども書きなさい。



- ① a, b の値をそれぞれ求めると、 $a = \text{}$ 、 $b = \text{}$ である。
- ② 点 C の x 座標を t とするとき、四角形 $CDEF$ の周りの長さを t を用いて表しなさい。
- ③ ②の t について、 $2 < t < 4$ とする。このとき、直線 AB は線分 CD, DE とそれぞれ交点をもつ。したがって、四角形 $CDEF$ は直線 AB により、三角形と五角形に分割される。この三角形と五角形の周りの長さの差が 10 となる時、四角形 $CDEF$ の周りの長さは である。

5 右の図のように、 $AB=6, AC=8, \angle BAC=90^\circ$ である直角三角形 ABC の 3 つの頂点を通る円がある。 $\angle BAC$ の二等分線と辺 BC との交点を D 、円との交点のうち点 A と異なる点を E とする。次の ①, ③, ④では に適当な数を書き入れなさい。また、②では指示にしたがって答えなさい。



- ① $BC = \text{}$ であり、 $\triangle BEC$ の面積は、 である。
また、 $AD:DE = \text{} : \text{}$ である。ただし、 : は最も簡単な整数の比で表しなさい。
- ② $AD \times AE = AB \times AC \dots\dots (1)$ であることを、三角形の相似を利用して示したい。そのとき、利用するのに適した相似な三角形の組を 1 組あげ、それらが相似であることを証明し、(1) が成り立つことを示しなさい。
- ③ $DE = \text{}$ である。
- ④ 線分 DE を直径とする円と、線分 CE を直径とする円の交点のうち点 E と異なる点を F とすると、 $DF = \text{}$ である。

受 番	検 号	(算用数字)	志願校	
--------	--------	--------	-----	--

解 答 用 紙

数(1)

(2)

計

1		①	
		②	
		③(7)	
		③(1)	
		④	(個)
		⑤(7)	(°)
		⑤(1)	(°)
		⑥	

2		①	
		②	(%)
		③	

3	

受 番	検 号	志願校	
(算用数字)			

解 答 用 紙

(2)

4		①(7)	
		①(1)	
		②	
		③	

5		①(7)	
		①(1)	
		①(7)	
		①(1)	
		②	(Δ) \cos (Δ)を利用する。
		③	
		④	

受 番	検 号	志願校	
(算用数字)			

数 学 解 答 例

数(1)	(2)	計

1		①	$-\frac{3}{2}$
		②	-7
		③(ア)	-3
		③(イ)	4
		④	54 (個)
		⑤(ア)	18 (°)
		⑤(イ)	54 (°)
		⑥	$\frac{1}{12}$

2		①	2
		②	20 (%)
		③	<p>$b+c=4$ より $c=4-b$ 90点の人数は $4-b$ 人である。 最頻値の得点は70点であるから 平均値は $\frac{40 \times 3 + 50 \times 5 + 60 \times 2 + 70 \times 6 + 80 \times b + 90 \times (4-b)}{20} = 70 - 8$ 解いて, $b=3$ $c=4-b=1$ したがって, $b=3, c=1$ 罫</p>

3		<p>増量する前と増量した後に販売したジュースをそれぞれ x 杯, y 杯とすると, 増量する前は 250 mL, 増量した後は $(250+25)$ mL で販売したから, $250x + 275y = 31000$ 両辺を 25 で割ると, $10x + 11y = 1240$ …… (1) 材料費は, ジュースが $300 \times 31 = 9300$ 円, コップが $20(x+y)$ 円だから, $9300 + 20(x+y) = 11700$ 整理すると, $x+y=120$ …… (2) (1), (2) より $x=80, y=40$ したがって, 増量する前は 80 杯, 増量した後は 40 杯である。 罫</p>

受 検 号	(算 用 数 字)	志 願 校	
-------	-----------	-------	--

数 学 解 答 例

(2)

4		①(ア)	$\frac{1}{2}$
		①(イ)	-4
		②	<p> $C\left(t, \frac{1}{2}t^2\right), D\left(-t, \frac{1}{2}t^2\right), E(-t, -t^2), F(t, -t^2)$ であるから $CD=t-(-t)=2t,$ $CF=\frac{1}{2}t^2-(-t^2)=\frac{3}{2}t^2$ したがって、周の長さは $(CD+CF)\times 2=2\left(2t+\frac{3}{2}t^2\right)=3t^2+4t$ ㊦ </p>
	③	$\frac{140}{3}$	

5		①(ア)	10
		①(イ)	25
		①(ウ)	24
		①(エ)	25
		②	<p> $(\triangle ABD)\sim(\triangle AEC)$ を利用する。 $\triangle ABD$ と $\triangle AEC$ において 直線 AE は $\angle BAC$ の二等分線であるから、 $\angle BAD = \angle EAC$ ……(2) \widehat{AC} に対する円周角は等しいから、 $\angle ABC = \angle AEC$ $\angle ABD = \angle AEC$ ……(3) (2), (3) から、2組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ABD \sim \triangle AEC$ したがって $AB : AE = AD : AC$ すなわち、$AD \times AE = AB \times AC$ ……(1) ㊦ </p>
	③	$\frac{25\sqrt{2}}{7}$	
		④	$\frac{5}{7}$